

第74回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2017年11月12日(日) 13:50-16:00 学会ビル地下会議室

2 参加者

矢島、渡邊、根本、畠山、瀧上、宮嶋、丹羽、上村、藤原、小林、田口、阿部(オブザーバー)

3 前回議事録案の承認

提案の通りに承認された

4 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

- ・9/16-18、地学教育学会神戸大会にて、地球惑星科学実習帳250冊を無料配布した。
- ・11/11, 12、地学教育に関する東大地震研研究集会が開催された。11/11の研究集会終了後には、研究集会参加の高校関係者等が集まって情報交換を行った。
- ・今夏、フランスで行われた国際地学オリンピック大会の結果が報告された(金2、銀2)
- ・10/6に開催された理数系学会連絡協議会について、今年度はシンポジウムの開催がないこと、これまでの活動をきちんとHPに残すことが決まったことが報告された。
- ・日本学術会議の用語問題小委員会の第23期の活動について、内容が記録として公表されたことが報告された。また、第24期の活動方針が12月の会議にて検討される見通しであることが報告された。

3 教育検討委員会関連の報告事項

- ・新「地学基礎」案について、文科省の担当者から参考になっているという評価を受けていることが報告された。
- ・JpGU主催で実施した教員免許状更新講習が全て終了し、その概要報告がなされた。フィールドワークが好評であったこと、遅刻者の扱いに苦慮したこと、参加人数が少ない講座は経営的には苦しいことが挙げられた。
- ・2018JpGUパブリックセッションの進捗状況について、セッションタイトル、コンビーナ、スコープ、セッションプログラム案が報告された。なお、総合討論での、地学教育に対して学会が行う具体的施策の提案の内容について議論になった。
- ・教育国際対応小委員会について、次年度、静岡を中心にイベントを行う方向で進んでいることが報告された。
- ・日本地学オリンピック予選大会の現時点での参加申込み数(約1700)について報告があった。
- ・連合大会、小中高校の地学教育セッションについて、コンビーナの担当ルールの確認を行った。

4 協議

(1) 今後の活動方針について

- ・埼玉県地学研究委員会発行の「地球惑星科学実習帳」の普及について、次年度も継続することを決定した。なお、予算決定のため、印刷冊数ごとの見積もりを至急とることを確認した。
- ・用語問題についてまとめた月間「地理」での論文の別刷りについて、次年度パブリックセッション等で配布することを目的に全部で500部作成し、JpGUにて配布を行う分の資金を教育検討委員会予算で支出することを決定した。
- ・全国の地学教員からの情報収集を目的として、小委員会の旅費予算を使って講演者を招き、シンポジウム等を開催することを決定した。

(2) その他

教育検討委員会の各小委員会について、設置・運営細則を定めるべきではないかという意見がだされ、必要に応じて検討・作成することを確認した。

5 次回小委員会

新しいセンター試験のプレテストの分析、高校学習指導要領のパブリックコメントに対応して、適切な時期を選んで今年度内にもう1回の小委員会を開催することを決定した。